

留学タイプ・国別費用

留学先：アメリカ

期間：9か月

プログラム：在籍大学の交換留学プログラムを利用して、単位を取得

●留学費用 340万円

生活費…250万円

学費…15万円

(交換留学だったので、基本的には学費はかからず、施設利用費のみ)



Tさん H30 (大)

留学先：ドイツ

期間：1年

プログラム：在籍大学の交換留学プログラムを利用

●留学費用 約140万円

生活費…約2350ユーロ(約305,500円)

学費…725ユーロ(約94,250円)

※1ユーロ=130円で計算

※生活費・学費の他、交際費、旅行費、往復航空券代、保険料などもかかっています



Kさん H30 (大)

留学先：ベトナム

期間：1年

プログラム：在籍大学での交換留学プログラムを利用

●留学費用 約100万円

生活費…約70万円

学費…交換留学なので日本の大学の学費のみ

その他経費：約30万円

渡航費や保険、予防接種代が思いの外かかりました。



Sさん H30 (大)

留学先：カナダ

期間：1年

プログラム：在籍高校の姉妹校への交換留学制度を利用

●留学費用 約280万円

生活費…約160万円

(ホームステイ費用・サマースクール費用・その他保険やアクティビティ費用等)

学費…約120万円

生活費は渡航前にエージェントに振り込みました。



Tさん R1 (高)

教えて!センパイ

留学体験談

「アメリカの学術都市で幅広い知識を得る」

★先輩体験談：高桑 孝太郎さん

留学先：アメリカ マサチューセッツ大学ボストン校 9か月 H30(大)

●留学費用(おおよそ)

総額：340万円

生活費：250万円

学費：15万円



マサチューセッツ大学ボストン校

●留学先を決めた理由

小学校四年生のときに通っていたインターナショナル・スクールのおかげで英語が好きになり、自分自身の得意科目にもなりました。だから、大学に進学したときから、海外に留学することにとても興味がありました。目的は、英語力上達と異文化交流です。アメリカを選んだ理由は私の専攻がアメリカ研究で、主にアメリカの奴隷制度や移民政策の歴史を勉強していたからです。また、ボストンはアメリカの中でも学術都市で、様々な人種の人々がいて、幅広い知識を得ることができると思い、選びました。

●良かったところと苦労したところ

毎年春に行われる、ボストン日本祭りに、運営側として参加できたことです。ボストンでは毎年たくさんの日本食レストランや日本のお土産屋さんが集まり、現地の人々に日本文化を紹介するお祭りがあります。なかでも有名なラーメン屋さんの手伝いとして、会計をしたり、客引きなどをしたりしました。日本を好きな人がたくさんいることに、とても感銘を受けました。一番苦労したことは、1学期の授業でした。授業中英語は聞き取れることができて、いざ話すとなると文法があやふやだったり、伝えたいことがうまく伝えられなかったりする時がありました。また、私だけグループの輪から外されてしまう事もありました。しかし、少数の友達は私の拙い英語でも耳を傾けてくれる人がいたので、その人と話していくなかで、自分自身の英語にも少しずつ修正を入れることができました。



ボストンで毎年9月下旬に行われているソフトボール大会での写真

「高校生の時にタイに交換留学へ！」

★先輩体験談：佐々城 菜那さん

留学先：タイ カセサート大学附属高等学校 10か月 R1(高)

●留学費用(おおよそ)

約130万円(学費：0円 渡航費・滞在費等：130万円)

交換留学だったので学費はかかりませんでした。その他、留学前に支払った保険料や渡航費などをすべて含めて130万円くらいです。生活費や食費として毎月ホストファミリーに3万円程度支払っていました。その他は、友達と出かけたりした時の食費や交通費、自分の身の回りの物など、毎月3千円程度支出しました。

●留学先を決めた理由

以前から海外で学ぶことに興味がありました。また、自分の通っていた高校にタイからの交換留学生が来ており、仲良くなったことからタイへの留学を決めました。毎年私が通っている高校ではインドネシアやフィリピンなどの高校との交換留学制度があり、それを希望し校内での面接や書類審査などを経て交換留学生となりました。タイへの留学は私の年が初めてでした。



修了式(左は校長先生)の写真

●良かったところと苦労したところ

できるだけ多くの友達を作ること、日常会話レベルの語学力を身に付けることなどを留学の目標にしました。薬を日本からたくさん持って行ったり、きちんとした海外保険に加入するなどの準備をしましたが、留学中に体調が悪くなってしまい、医者の前で症状を詳しく伝えなければならなくなって困りました。病気(痛みの種類や薬の名前など)に関する用語だけは、出発前に覚えたり調べたりしてすぐ言えるようにしておいた方がよいと思います。留学してよかったと思うことは、10か月間のタイでの生活を経てかけがえのない友達や先生、家族ができたことです。新型コロナウイルスの流行により緊急帰国する案も出ましたが、予定されていた10か月間最後まで快く面倒をみてくださったホストファミリーや留学先の学校には感謝しかありません。最後にはソーシャルディスタンスやマスクの着用しながらも留学の修了式を開いていただいたことは、ずっと忘れたいと思います。



ホストファミリーの写真